

# 支え合い S-1グランプリ第2回いがす大賞を開催するにあたって

2011年3月11日に発災した東日本大震災後、地域にはさまざまな住民活動やつながりが生まれました。「小物づくりや体操などで集まるように。そこからたいせつな仲間ができました!」「新たな暮らしを築くために、住民・団体一丸となってまちづくりを行っています!」そういった、地域が元気になる活動、参加者がいきいきする活動、思いがあふれる活動は、あなたのまわりにもきっとあるはず。いがす大賞は、そんな地域や人を想う熱い気持ちのこもった活動を学び合い、参加者同士の交流が生まれることによって、【それぞれの取り組みが、より魅力的な活動になるためのヒントを得る場になること】、そして【各地域での活動が、ひとつの地域だけにとどまるのではなく、多くの地域に広まること】を目的に開催します。

2013年12月に開催した「第1回いがす大賞」には、全国から予想を上回る102件の応募をいただき、予選を通過した15団体が当日プレゼンテーションを行って、審査員と一般来場者の投票により、福島県浪江町民が暮らす「二本松市建設技術学院跡地仮設住宅自治会」が、「大賞」を受賞しました。

第2回目となる今回は、開催目的をより明確化するために「S-1 グランプリ」と冠し、被災3県を中心に33件の応募をいただきました。前回より応募数は少ないものの、蓋をあければ魅力的な活動が多く、予選を通過した9団体が2月15日の本審査でダンスや実演によるパフォーマンスを行い、大賞を決定します。被災地復興を後押しするだけでなく、全国各地の地域活動にも活力を与える取り組みばかり。ぜひ会場でこの熱気を感じてください!

## 当日のプログラム

詳細は「第2回いがす大賞」ホームページを随時チェック!  
<http://www.clc-japan.com/>



13:30	開場	受付開始
14:00~14:20	開会式	オープニング・いがすとは!? / 審査委員紹介ほか
14:20~16:00	実践発表	パフォーマンス / 審査委員からのコメント
16:00~16:15	休憩 / 審査	
16:15~16:30	表彰式 / 閉会式	
16:30~17:00	交流 TIME	当日参加自由です!! 交流を深めませんか??



第1回いがす大賞授賞式

## 審査委員紹介

★審査委員★

大坂 純 仙台白百合女子大学人間学部 教授	玄田 有史 東京大学社会科学研究所 教授 希望学プロジェクトリーダー	橋本 由利子 特定非営利活動法人コーヒータイム 理事長 福島県浪江町主任児童委員	横山 英子 仙台経済同友会幹事 (株)横山芳夫建築設計監理事務所 代表取締役社長	酒井 保 ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター

★特別審査委員★

堂本 暁子 男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表 前千葉県知事	博多 和宏 (演出協力) 情熱家 吹上ワンダーマップ実行委員会 委員長

★当日はむすび丸(宮城県観光PR担当課長)も来るよ!  
 ※マークは審査委員長

## いがす採点基準

- ★ おらほ度⇒ 自分らしさ、やりたいこと、思いが前面に出ている。
- ★ おもせ度⇒ 内容がとにかくおもしろい。
- ★ のさる度⇒ 誰でも気軽に参加でき、いきおいがある。
- ★ おがる度⇒ 今後の成長に期待できる。
- ★ いがす度⇒ これぞいがす! 直感に訴えかけるものがある。

## 入選団体紹介

**佐々木 純子**  
 岩手県盛岡市、宮古市  
**想いをチカラに**  
 2011年より被災沿岸部と内陸部をつなぐ活動を開始。宮古市の仮設住宅で暮らす女性グループに、不要になった浴衣を盛岡市内の学生が届け、浴衣をリメイクした作品を学生が受け取って盛岡で販売活動を行い、売上金をグループにお渡しする取り組みに発展。

**着物リメイク教室**  
 (大船渡・大槌・陸前高田教室)  
 岩手県大船渡市、大槌町、陸前高田市  
**和服をリメイク、「心の復興」に一役**  
 全国から寄せられた支援物資の和服を、斬新なデザインの服にリメイクする「着物リサイクル講座」を開き、延べ100人以上が受講するとともに、仮設住宅で暮らす人たちがモデルを務めるファッションショーを開催。リメイクの楽しさを分かち合っています!

**北限の茶を守る 気仙茶の会**  
 岩手県陸前高田市  
**時空を超え、人と人をつなぐ気仙茶で、地域の未来を拓きたい!**  
 消滅の危機に瀕した、気仙地域での自家用茶文化を守り育てるべく、メンバー60人が活動。2012年より除染と休眠茶園の再生を始め、今では茶畑管理、茶摘み、伝統製茶の再現、お茶会、茶文化の記録・出版などの活動をとおり、世代間交流がすすんでいます。

**株式会社 小野花匠園**  
 宮城県南三陸町  
**農業で雇用を生み出したい**  
 南三陸町で農家を営んでいたが、震災後、自分に何ができるかを考え、残された農地を利用して仕事を失った人たちが働ける場を創り出そうと、2012年2月に株式会社を設立。年間をとおした生産・加工・販売体制を構築し、高齢者や障害者など社員9人、パート11人を雇用するまでに。

**たんぽぽ会**  
 宮城県石巻市  
**踊りはちょっとずれるけど心はシンクロ100%**  
 震災前から、自分たちで振り付けを考えて、地域のお祭りなどで踊りを披露してきた私たち。「みんなの明るい笑顔を取り戻そう」と、地域の歌に振付を考えて仮設住宅などで踊っています。平均年齢68歳。キレイのある踊りをご覧ください。笑顔になること間違いなしです!

**工作の森**  
 宮城県仙台市  
**☆工作で引き出す子どもたちの笑顔☆**  
 仙台市科学館を縁につなげた女性2人と女子高生2人の4人が、市民センターのお祭りなどで、子どもを対象とした工作のワークショップを企画・開催。準備する150の工作セットは、毎回なくなるほど好評。活動できる場所を増やして、たくさんの子どもに会いたい!

おおだいら  
**大平北部ネットワーク**  
 福島県二本松市  
**浪江町、二本松市、等しく大災害の被災県民として、共に支え合い、絆を深め合って、元気でいがす将来を築こう。**  
 二本松市の恵まれた自然環境を守り続けるために、7年前に発足。年間事業の一つ、「田んぼの楽校」には、地元の小学生や二本松市に避難されている浪江町民なども参加し、昔ながらの田植え・稲刈り・餅つきをして無料で500食以上を振る舞うなど、事業をとおしたコミュニティづくり、お互いさまの支え合い活動を目指しています。

**「原っぱサロン」 特定非営利活動法人Jin**  
 福島県本宮市  
**80歳すぎてもまだまだ元気! 何でもやるよ**  
 本宮市にある仮設住宅内の「原っぱサロン」には、平均年齢80.4歳の7人が元気に参加。料理や手芸など多様な活動をしています。仮設住宅から引っ越していく人たちを見て、どこに行っても自分らしく生きていくために、今年度は「独りになっても大丈夫」「やればできるよ」を合言葉に活動中。

**NPO アジア職業 エコガイド・ウォーキング 指導者協会**  
 福島県南会津町  
**歩く運動で断固として「健康寿命を引き伸ばし長生きを実現させる」プロジェクト**  
 歩く運動をテーマに、福島県内及び東北全域で、高齢者から子どもまでを対象としたエコツアーやハイキング、ウォーキング指導者養成などを実施。身体的・メンタル的な健康を取り戻し、家族で自然を楽しむきっかけに! 自分の健康を自分で管理するためには「歩く運動がベスト」



## 会場周辺地図



会場：せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア  
〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町2-1 TEL：022-713-3171



## 交通アクセス

- 地下鉄** 仙台駅から泉中央行きで3分、勾当台公園駅下車。「公園2」出口から徒歩6分。
  - バス** 仙台市営バス 仙台駅前-29番（荘内銀行前）のりばから「定禅寺通市役所前経由 交通局大学院」行き（系統番号J410）で約10分、メディアテーク前下車。
  - 徒歩** 仙台駅より約20分（約1.8キロメートル）。
  - 車** 東北自動車道仙台宮城ICから約10分（約5.3キロメートル）。  
有料駐車場あり。（64台）
- ※なるべく公共交通機関をご利用ください。



## 後援

復興庁／総務省／厚生労働省 東北厚生局／農林水産省 東北農政局／経済産業省 東北経済産業局／国土交通省 東北地方整備局／  
岩手県／宮城県／福島県／仙台市／社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会／社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会／  
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会／社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会／岩手県教育委員会／宮城県教育委員会／  
福島県教育委員会／仙台市教育委員会／朝日新聞仙台総局／読売新聞東北総局／毎日新聞社／岩手日報社／株式会社東海新報社／  
河北新報社／三陸河北新報社／株式会社石巻日日新聞社／福島民報社／福島民友新聞社／**仙台放送局**／  
IBC 岩手放送／株式会社テレビ岩手／めんこいテレビ／岩手朝日テレビ／TBC 東北放送／**仙台放送**／**マイギテレビ**／  
**KHB 東日本放送**／福島テレビ／福島中央テレビ／株式会社福島放送／テレビユー福島／株式会社エフエム岩手／  
ラチオもりおか／えふえむ花巻株式会社／**エフエム仙台**／FM76.2 ラジオ3／エフエムたいはく株式会社／**fml 797**／  
エフエムペリエリア株式会社／**H@!FM**／株式会社ラジオ福島／ふくしまFM／福島コミュニティ放送 FM ポコ／  
いわき市民コミュニティ放送／喜多方シティエフエム

## S-1グランプリ 第2回いがす大賞実行委員会事務局

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)／担当:小野寺(知)  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階

TEL : 022-727-8730  
FAX : 022-727-8737



# S-1 グランプリ 第2回 いがす大賞

仮設住宅のひろばで人が何気なくあつまるところになって生まれた「お茶会」や趣味や特技など、自分たちの経験から生まれた「いきがい仕事」「伝統行事の継承」「語り部」「まちおこし」「コミュニティビジネス」など、人と人がつながり、被災地がもっといきいきするような、地域活動をいかに楽しく魅力的にステージ上で伝えられるか!? 本大会では審査委員とともに、当日みんなで「いがす大賞」を決定します。ぜひ会場での熱気を感じてください!

★「いがす」とは…宮城をはじめとした東北の方言で、「いいね!」「了解しました」などの意味です。

開催日  
2015年  
**2月15日(日)**  
14:00~16:30  
せんだい  
メディアテーク1階  
「オープンスクエア」



観覧無料 (当日会場に直接お越しください)

主催：S-1グランプリ 第2回いがす大賞実行委員会

(特定非営利活動法人つどい、特定非営利活動法人雲母倶楽部、社会福祉法人東北福祉会、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター、一般社団法人パーソナルサポートセンター、宮城県サポートセンター支援事務所、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター、東北関東大震災・共同支援ネットワーク、特定非営利活動法人Jin)